

第3回第3期 湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会 会議録

開催日時	令和7年12月23日（火曜日） 午後1時30分・開会 午後3時55分・閉会
開催場所	上湧別コミュニティセンター1階第1会議室
出席委員等	委員：猪熊副委員長、清水・片岡・今野・上松・遠藤・篠田・西村各委員 各部会長：岩瀬住民税務課長、北林建設課長、大口商工観光課長
欠席委員等	小幡・藤井・水野・早川各委員
事務局職員	企画財政課：井上課長、佐藤主幹、齊藤主査
議題	1. 開会 2. 委員長挨拶 3. 議題 （1）湧別町人口ビジョン（素案）について （2）第3期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について 4. その他 （1）次回の会議日程について 5. 閉会
会議の公開	公開
傍聴人の数	0名
提出資料	（1）第3回 第3期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会議案 （2）湧別町人口ビジョン（素案、改訂版） （3）第3期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）
その他	

1. 開 会

井上課長) ご案内の時間になりました。ただ今より、第3回目の湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会を開催させていただきます。本日、小幡委員、藤井委員、早川委員、水野委員より欠席のご連絡がありましたので、ご報告させていただきます。

なお、湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会条例第6条第2項の規定では、会議は委員の半数以上が出席しなければ、開くことが出来ないとされておりますが、本日の会議の出席委員数は8名であり、委員の過半数が出席しておりますので、本日の会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。

2. 委員長挨拶

井上課長) それでは、猪熊副委員長よりご挨拶を申し上げます。

猪熊副委員長) 皆さまご苦労様です。本日は3回目の委員会に年末のお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。当初12月上旬の開催を予定しておりましたが、参加者が少なく12月下旬にずれこんだことをご了承ください。前回から策定に向けた審議を行っておりますので、引続き審議をお願いいたします。審議が順調に進みましたら次回加藤町長への答申ができますし、今日終わらなければもう一度審議が必要になると思っておりますがよろしくお願ひします。限られた時間の中ですが、忌憚のない発言やご意見をよろしくお願ひします。

井上課長) 本日の会議は概ね2時間を目途に終了させていただきたいと考えておりますが、議題を終了できない場合は、次回の会議に持ち越しさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

3. 議 題

(1) 湧別町人口ビジョン(素案)について

※議案に基づき事務局から説明 文言等の修正なし

(2) 第3期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について

※議案に基づき「第2章基本目標、基本施策及び具体的な施策の展開」の

1. まち創生について13ページから16ページまで事務局から説明

前回は質疑を行っている箇所であり、新たな意見なし

※議案に基づき「第2章基本目標、基本施策及び具体的な施策の展開」の
2. ひと創生について17ページから22ページまで事務局から説明

遠藤委員) 特定健診受診率について、50%だが町の健診の受診率なのか。会社勤めの社保の人は含まれていないのか。

猪熊副委員長) 何の特定健診受診率なのかわからないので、事務局で確認し追加で記載する。

西村委員) 18ページの推定移住者についてもっと増えてもいいと思っている。別の形で目標を立てられるのではないか。

片岡委員) 移住者の定義は何か。

清水委員) 移住者の定義を明確にして記載するべきではないか。

猪熊副委員長) 13名はすごく少ないと思う。開盛の分譲地だけで相当数いる。

佐藤主幹) おためし移住事業・地域おこし協力隊活用事業・保育園留学など、町の事業を通して移住してきた人の人数としているためである。

片岡委員) 町外の人が町内に住宅を取得・新築した場合、補助金が出ると思うがそういう人たちはここには入ってきていない。

西村委員) 例えば地域おこし協力隊の方々の定着率などが目標値として合った方がいいのではないか。

猪熊副委員長) 策定委員会で意見があったことを担当課で検討してもらいたい。例えば住宅取得補助を行った際の町外からの割り増しを受けている人の数字を入れるなど、次回までに検討して修正してほしい。

上松委員) 町で潜在資格所持者、例えば看護師・保育士・医師など資格を所持している人を把握してはいないのか。災害など発生した場合に、資格がある人で手伝いができますという人を把握できればいいと思う。

猪熊副委員長) 人材バンクみたいな感じですね。

上松委員) 看護師の資格を持っている方も結構いるので、何かあった時に声をかけられるように参考資料として持っておいた方がいいと思う。

片岡委員) 資格を持っている方が自分から言ってくれないとできないものであると思う。個人情報関係もあるので。

猪熊副委員長) 職種によってある場合もある。何かあった場合にそういうものがあつたほうがいいと思うので、町の方で検討してはどうかと委員会の意見として提出することとする。

遠藤委員) 21ページ芸術文化振興・奨励事業参加者数の目標値について、実績値より減少している。これはどういった事業のことか教えて欲しい。

佐藤主幹) 各世代の芸術文化鑑賞事業、令和6年度で言えば海援隊のトークライブや落語家の独演会などの参加者数である。

遠藤委員) 目標値は減少ではなく少しでも高く設定してはどうか。

清水委員) ふるさと納税寄附件数について、全国トップクラスの紋別と品揃えは変わらない中で、6,000件というのは決して多くはないので、目標値であればもっと大きく出してもいいのではないか。

片岡委員) この件数とした根拠を説明してもらえれば納得するかもしれない。

猪熊副委員長) ふるさと納税のイメージでは金額のほうがわかりやすいと思うがどうか。

上松委員) 両方ある方がわかりやすいのではないか。

猪熊副委員長) 両方記載してはどうかという意見があったので、担当課と協議して修正をお願いしたい。

西村委員) 他の市町村と比べ、地域おこし協力隊が活躍しているところが少ないと感じている。多い町では20人くらい活躍し、例えば地元野菜で新しいものを作ろうなど新しい取り組みを行っているところもある。地域おこし協力隊の質を上げることと、町として何か目的をもって絶対に来て欲しい、呼びたいというところに力を入れてほしいと思っている。

猪熊副委員長) 地域おこし協力隊の定住率は高い方であった。事業名に地域おこし協力隊活用事業があるが目標値等がない。いい実績があるのにそこが見えてきていないので、検討していただきたい。

西村委員) 19ページ出産等支援事業について、出産お祝い金みたいなものがあるのか。

佐藤主幹) 現在、出産祝い金はないが、出産された方に育児パッケージと言ってオムツや洋服等をセットにして渡すことは行っている。

西村委員) 湧別は子育てについて医療費の無料化等サポートが手厚いと聞いているが、産むときが一番ハードル高いのかなど。例えば条件を厳しく、例えば中学校卒業まで住むことを条件にするが、その分お祝い金としてビックリするくらいの金額を支給するという取組みを行ってみるのもいいのではないか。

今野委員) 今年の町内からの湧別高校への入学者は56%、その前の年は40%台、さらにその前の年は30%台で、町からの支援や地域の皆さまからの理解をいただき、町内からの入学率が上がってきている。来年度はもっと上がりそう。学生寮を整備してもらい、道外からも来てもらえそうである。今年の中学3年生の数は36人であるが、2間口確保に向け明るい材料になっている。一昨年から全国募集を行っているが、寮が無いことで募集者がいなかったのも、寮ができたことは非常に大きい。

※議案に基づき「第2章基本目標、基本施策及び具体的な施策の展開」の
3. しごと創生について23ページから25ページまで事務局から説明

西村委員) 高校に専門分野を学べる環境があってもいいのではないか。

今野委員) 今年から湧別チャレンジという学校設定科目、キャリア教育学習が始まり、漁業コースを作って船舶免許を取れるようにしたが希望者がいなかった。

片岡委員) 18歳にならないと取れない資格が沢山あるので、そこは難しいかもしれない。

今野委員) 漁業を希望する生徒は2・3名なので、一次産業コースを作り、概要を学べるように設定し令和8年度からスタートする。これは道外からの募集を意識して、北海道に来て一次産業を学びたい、体験したいという生徒がいると思うので、そういうプログラムを作成した。

西村委員) 電気関係、建設関係等、町内業者への就職状況をみると、今後災害が発生した時など、ちょっとした修理等に対応できないことが出てくることを懸念している。一次産業以外の二次産業、製造業等についてもインフラ枠として力を入れて検討していかなければならない部分であると思う。

遠藤委員) 奨学金支援について、町内に就職すると返済を支援してもらえる制度があるが、町内に就職先が多くないと活用されないのではないか。

片岡委員) 町外出身者が奨学金を借りた状態で町内就職した場合に補助を受けられるものである。町内出身者でなくても対象となっている。

齊藤主査) 湧別町の奨学金を借りた場合は卒業後6年以内に町内に居住し町内の企業に就職または家業に従事して10年を超えたときは奨学金の返済が免除となる。他の奨学金を借りている場合は、町内の事業所に5年以上継続して就業する見込みであることが条件で返済を補助している。

篠田委員) 大学4年生で奨学金借りたら300万から500万ぐらい抱えて卒業してくる。

遠藤委員) 奨学金の返済があるから結婚できないとか子供を産めないとか経済的な負担がある。

※議案に基づき26ページから30ページまで事務局から説明

篠田委員) 企業版ふるさと納税について教えて欲しい。

井上課長) 町外の企業が現金や現物で湧別町に寄付してくれるものである。

猪熊副委員長) 全体を通して何か意見があればお願いします。

遠藤委員) 事務局から、交流広場整備事業については新庁舎建設に合わせて整備するものであるから削除したいとのことであったが、交流広場整備事業は残しておいた方がいいのではないか。

井上課長) 町長が代わり、今進めている新庁舎建設については凍結するという方

針である。28ページの交流広場整備事業については、記載のとおり新庁舎建設等事業に合わせて整備するものであったことから、削除したいと提案させていただいた。

猪熊副委員長) 町長が代わり庁舎を建設しないという方針になったことにより事務局から削除してはどうかとのことであった。庁舎は建設しないが、場所は変わるかもしれないが交流広場整備事業については残すこととしたい。

西村委員) 新庁舎の整備について、記載したほうがいい。

片岡委員) 新庁舎の建設整備について進めて欲しいという意見があるということを示したい。委員会の意見としてどうにかして入れられないか。

猪熊副委員長) 委員会の中でそういう意見があったことを付帯意見として記載することとする。

4. その他

(1) 次回の会議日程について

佐藤主幹) 次回の会議日程は1月中旬を予定とし、日程調整します。今回は今回出された意見を基に修正した案を協議していただいたのち、町長へ答申していただく予定であります。

5. 閉 会

猪熊副委員長) 事務局から説明があったとおり、次回は1月中旬を目途に日程調整したいとのことですのでよろしくお願いします。

本日は大変ありがとうございました。

午後3時55分終了